

## 単元名 平調子の特徴を生かして音楽をつくろう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴を理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けることができる。
- (2) 平調子の構成音による特徴やリズムパターンの反復や組み合わせの特徴についての知識や、課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫することができる。
- (3) 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

11260302\_001

【教材名】平調子の特徴を生かして音楽をつくろう

(上 P. 28～P. 29)

【準備等】範奏音源、デジタル教科書

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 指定されたリズムパターンで旋律をつくる。</p> <p>★平調子の音を使って旋律をつくろう。</p> <p>○活動1の条件を理解する。</p> <p>○楽器で表現したり口ずさんだりして、音の響きやリズムの特徴を感じ取る。</p> <p>○五つの音から自由に音を選択し、「あ」～「い」～「あ」～「う」のリズムパターンを使って旋律をつくる。</p> <p>○互いの演奏を聴いて、感想を発表し合う。</p> <p>2 4小節の短い旋律を二つつくって表現する。</p> <p>★「さくらさくら」を参考にして、短い旋律をつくろう。</p> <p>○「さくらさくら」で条件1がどのように用いられているか理解し、創作の参考とする。</p> <p>○五つの音とリズムを自由に選んで表現する。</p>	<p>・平拍子に基づく五つの音と四つのリズムパターンを使うことを理解させる。</p> <p>・口唱歌することで、我が国の音楽の伝承方法にも触れさせる。</p> <p>【評】構成音やリズムパターンの特徴を理解し課題に沿った選択をする活動を通して、「技能」を評価する。</p> <p>・リコーダーや箏で確かめさせることで、音の選択の参考にさせる。</p> <p>・デジタル教科書を活用して、生徒が選んだ音を入力することで実際に旋律を聴取し、創作のための条件を確認することができる。</p> <p>・半音を多用したり、ミヤシで終始させると、「平調子の特徴」が生かせることに気付かせる。</p> <p>【評】条件に沿って「平調子の特徴」を生かした旋律をつくるために創意工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書P. 29を活用して、平調子から生まれる旋律の特徴や、リズムの反復、組み合わせによる曲想のまとまりを確認させる。</p> <p>【評】平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴を理解する活動を通して、「知識」を評価する。</p> <p>・つくった旋律をグループで交流させて、相互評価させる。</p> <p>・つくった旋律を「さくらさくら」の前奏または後奏として表現を楽しむこともできる。</p> <p>【評】条件を生かして、まとまりのあるよりよい旋律をつくる活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

平調子に基づく五つの音と、「あ」～「え」の四つのリズム・パターンを用いた4小節の短い旋律をつくる活動を通して、平調子の特徴を生かした楽曲の構成の仕方を理解させる。「さくらさくら」に実際に用いられているリズムパターンや構成音を曲想と関わらせながら前奏として創作することで、表現を工夫してまとまりのある創作作品をつくることを目指す。発展的な学習として、8小節の長さにしたたり、新しいリズムを考えたりする活動も考えられる。

【共通事項】音色・リズム・旋律・構成